

高生研第48回大会北海道大会 大阪高生研Presents！！ 8,6 Fri 同時交流会のご案内

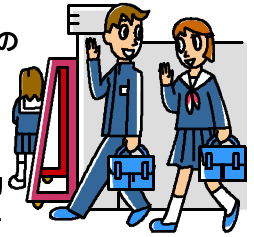
北海道大会にお集まりのみなさん、ご苦労様です。高生研北海道大会・大阪高生研プレゼンツの交流会のご案内です。同日・同時開催で、どちらに行くか悩ませそうですが・・・。大会参加の方、ぜひご検討ください。

A 交流会 シリーズ『教育と労働と福祉をつなぐ』VOL.3

「若者たちの“社会的排除”を防ぐ」
 巣立ちのときを支える旧札幌星園高校のとりのくみから学ぶ

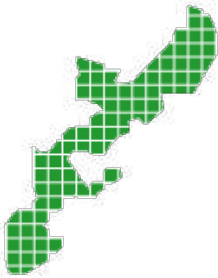
ゲスト：北海道大学大学院 市原 修さん 旧札幌星園高校ボランティアアドバイザー

この3月に廃校になった札幌星園高校。NHKで昨年と今年、2回にわたって同校の進路指導の様子とその後が紹介されました。(2009年12月「若者たちの“社会的排除”を防ぐ～巣立ちのときを支える～」2010年5月ヒューマンドキュメンタリー「卒業、しかし・・・高校生就職難の中で」)。同校の特徴は、教師、スクールソーシャルワーカー、企業出身のアドバイザーなどそれぞれの専門家による協働の“キャリア教育”です。大阪がこの間研究している「教育と労働と福祉をつなぐ」一つの事例とも言えるでしょう。外部機関と学校の連携、教師が福祉的視点をもつこと、貧困の渦中にある生徒たちの自己肯定感のありよう・・・など、この交流会では同校のアドバイザーの市原純さんをお招きして、報告と率直な意見交換を行いたいと思います。ふるってご参加ください。

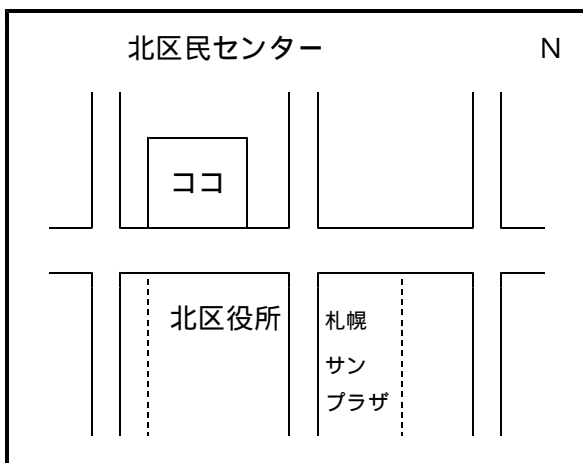


B 交流会 北の大地で考える戦争と平和『沖縄とアフガンをつなぐもの』

ゲスト：比嘉 靖さん（沖縄高生研）西谷文和さん（フリージャーナリスト）



8月7日(土)に西谷さんが北海道で講演すると聞きつけ、急遽開催が決まった緊急企画。『沖縄とアフガンをつなぐもの』です。比嘉靖さんは、元沖縄高生研代表。「沖縄の苦しみはどこにも押しつけない」のが県民の気持ちと訴えます。一方、戦時下のアフガンに取材を敢行し、ルポを送る西谷さん。「私たちは、平和は当たり前前の空気のようなもの、と感じているかもしれない。しかし世界には『戦争しか知らない子どもたち』がいる。そしてその子どもたちを空爆する米軍は、沖縄から飛び立っている」と告発します。沖縄・日本とアフガンはどうつながっているのか・・・。比嘉さんには問題別分科会でも教育と沖縄の今を縦横に語っていただきますが、お二人のコラボはここだけ。興味が尽きません。



とき：8月6日(金) 18:30～20:30

21:00～懇親会 2交流会合同 会場付近のお店で

場所：札幌市北区民センター 3階

A：青年の部屋 B：講義室

会費：500円 会場費・資料代等に充当

主催：大阪高生研

事務局長 首藤広道 080-1407-3922